

アメリカ合衆国大統領
ドナルド・J・トランプ 閣下

抗議文

貴国が、本年2月にネバダ州において臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

当市では1982年に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島・長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、平和を愛する世界の人々と共に、核兵器廃絶と恒久平和を願ってまいりました。

貴国の行動は、被爆者や平和を願う習志野市民を落胆させ、核兵器廃絶への道を逆行するものであり、誠に遺憾であります。貴国をはじめ核保有国は自らの責務として、世界の平和と安定の構築に向けて積極的に核兵器廃絶に取り組むべきであります。

貴国に対し、核兵器廃絶への先導的な役割を期待するとともに、ここに、習志野市民を代表して、強く抗議し、世界の核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、いかなる理由でありましても、今後一切の核実験を中止するよう、強く要請いたします。

2019年5月28日

千葉県習志野市長 宮本 泰介

アメリカ合衆国大使館

特命全権大使 ウィリアム・F・ハガティ 閣下

抗議文

貴国が、本年2月にネバダ州において臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

当市では1982年に核兵器廃絶平和都市宣言をして以来、被爆の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え続けるとともに、再び地球上に広島・長崎の、あの惨禍が繰り返されることのないよう、平和を愛する世界の人々と共に、核兵器廃絶と恒久平和を願ってまいりました。

貴国の行動は、被爆者や平和を願う習志野市民を落胆させ、核兵器廃絶への道を逆行するものであり、誠に遺憾であります。貴国をはじめ核保有国は自らの責務として、世界の平和と安定の構築に向けて積極的に核兵器廃絶に取り組むべきであります。

貴国に対し、核兵器廃絶への先導的な役割を期待するとともに、ここに、習志野市民を代表して、強く抗議し、世界の核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、いかなる理由でありましても、今後一切の核実験を中止するよう、強く要請いたします。

2019年5月28日

千葉県習志野市長 宮本 泰介